

# AOI通信

静岡音楽館俱楽部情報誌  
JUNE 2018 No.90

## 第23回「静岡の名手たち」オーディション合格者決定！

5/12(土)邦楽部門、鍵盤楽器部門

5/13(日)管楽器部門、アンサンブル部門

この度、第23回「静岡の名手たち」オーディションがおこなわれ、応募総数61組から6組の方が合格しました。

合格者のみなさんは9/15(土)第23回「静岡の名手たち」オーディション合格者によるコンサートに出演します。

あなたも新しい才能が羽ばたく舞台にぜひ！

[邦楽部門] 富田華鳳賀(第)二世 山木太賀: 寿くらべ

[鍵盤楽器部門] 伊藤早紀(ピアノ) J.S.バッハ: トッカータ ホ短調 BWV914

五条玲緒(ピアノ) [ロダン賞]

D.スカルラッティ: ソナタ 二長調 Kp.492, L.14

F.リスト: ハンガリー狂詩曲 第6番 変二長調 S.244-6

近藤大夢(ピアノ)

L.v.ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第21番「ワルトシュタイン」ハ長調 op.53 より  
第2、3楽章

鈴木啓資(ピアノ) [コンセルト賞]

R.シューマン/F.リスト: 献呈 S.566

F.リスト: ハンガリー狂詩曲 第13番 イ短調 S.244-13

[アンサンブル部門] 長谷川由輝子、トビアス・ボルスボーム(2台ピアノ)

M.ラヴェル: 『スペイン狂詩曲』より

第1曲〈夜への前奏曲〉、第2曲〈マラグーニャ〉

W.ルツワフスキ: バガニーニの主題による変奏曲

※各部門五十音順



## 「はじめてのAOI」を実施しました。

静岡音楽館AOIでは生涯学習センターと連携して事業をおこなっています。

去る4月24日(火)に静岡市西奈生涯学習センターとの連携により「はじめてのAOI」を実施し、舞台袖や楽器庫など、ふだんなかなか見ることのできない場所を見学していただきました。また、チェンバロやパイプオルガンなどの当館所有の楽器についてもご説明しました。AOIをより身近に感じていただけると嬉しいです。そして次はコンサートでお待ちしています。



メシャン 世の終りのための四重奏曲、初めて聴きました。心を揺さぶられました。感動です！

(2/17 至高の室内楽 横川晴児(クラリネット)と仲間たち ご来場者より)

ご来場誠にありがとうございました。「世の終りのための四重奏曲」は演奏される機会がさほど多くない作品なのですが、ぜひみなさまにお聴きいただきたいということで取り上げました。

なお、この作品は7月から始まる第13期「ピアニストのためのアンサンブル講座」のレッスン曲です。レッスンの様子をみていただくと作品を創り上げていく過程がおわかりになると思いますので、どうぞお越しください。お待ちしています。

静岡音楽館俱楽部会員の皆さまへ

お名前、ご連絡先、銀行口座等、ご登録内容に変更が生じた場合は、速やかに下記までご連絡ください。なお、平成30年度をもって退会をご希望のかたは、平成31年2月末日までに、静岡音楽館俱楽部事務局へ退会届をご提出ください。ご提出のない場合は自動更新となりますので予めご了承ください。

静岡音楽館俱楽部 法人会員(2018年5月末現在)50音順

●(株)アイオレック  
●(株)SBSプロモーション  
●(株)タミヤ  
●(株)戸田書店

コンサートシリーズ2018-19  
主 催 静岡音楽館AOI 指定管理者(公財)静岡市文化振興財團

特別協賛 静清信用金庫

協 賛 アイワ不動産HD

ホテルセンチュリー静岡

studio  
FORUM  
HOUSE & SHOP DESIGN  
ANSHINDO

次のことを預めご了承の上、チケットをお求めください。  
皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

\* 価格は税込です。

\* 各都合により内容を変更する場合があります。

\* お客様のご都合によるチケッタ代の返金、座席の変更是致しかねます。

\* 場内での飲食、写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。

\* 携帯電話、アラーム付時計等の使用はご遠慮ください。

\* 他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。

\* 静岡音楽館AOIは、施設の構造上、会場準備が整わない状態(開場時間前)で、お客様は8階ホールへご案内することができないため、通常エレベーターは7階止になっております。開場時間になるとまで1階エレベーター前か、7階ロビーでお待ちください(ただし、1階エレベーター前で、お客様を優先してご案内いたします)。

\* 静岡音楽館AOIが主催するコンサート(一部を除く)では、未就学児は入場いただけません。

JR静岡駅北口を出てすぐ左 静岡中央郵便局 合同建物内

至浜松 (有料) P AOI 駐輪場 (有料) P (有料) P 駐車場 (有料) 東海道本線・新幹線 JR静岡駅 静岡市美術館 国道1号線 松坂屋 静岡科学館るくろん パルシェ 静岡駅 静岡市役所 国道1号線 ホテルアシア静岡 ホテルセンチュリー静岡

\* 当館専用の駐輪場、駐車場はありません。

CONCERT HALL SHIZUOKA 静岡音楽館 AOI

月曜日休館(ただし祝日開館、翌日休館) 9:00~21:30開館

Tel/Fax: 054-255-5377

(火~金 10:00~15:00)

e-mail: swan@xqj.biglobe.ne.jp

留守番電話の場合は、お名前・お電話番号を録音してください。

AOI 検索

AOI

AOI

AOI

AOI

AOI

インタビュー 力ニサレス (ギター)  
力ニサレス・フラメンコ・クインテット×福田進一

ジャン=ギアン・ケラス (チェロ)&フレンズ  
トラキア・プロジェクト

AOI・レジデンス・クワルテット  
松原勝也 (ヴァイオリン) × 川本嘉子 (ヴィオラ) 対談

琉球弧の島唄  
インタビュー 嘉数道彦 (国立劇場おきなわ 芸術監督)

第8回アマチュア・アンサンブルの日♪  
出演団体決定

第13期ピアニストのためのアンサンブル講座  
受講生決定!

第23回「静岡の名手たち」  
オーディション合格者決定!



# インタビュー カニサレス(ギター)

2018年9月22日(土)  
「カニサレス・フラメンコ・クインテット×福田進一」公演に  
ご出演いただく世界的フラメンコ・ギター奏者、  
カニサレスさんにお話を伺いました。

**Cañizares Flamenco Quintet**

©Amancio Guillen

—今回静岡で演奏していただくプログラムはどのようなものですか。

私が作曲し録音している、フラメンコのアルバム「魂のストリング」と「洞窟の神話」を中心に、コンサート用に特別にアレンジした演目を予定しています。

—フラメンコとはどのような音楽でしょうか？また、カニサレスさんにとってフラメンコとはどのような存在でしょうか？

スペイン南部アンダルシア地方に移り住んだロマ族(ジプシー)が、アンダルシアにもともと存在した民謡などと融合されて生まれた、歌、音楽、踊りを伴う芸能がフラメンコです。フラメンコは私の音楽活動の中心をなす柱のひとつといえます。

—フラメンコにおけるそれぞれの楽器、パートの役割について教えてください。

〈カンテについて〉

フラメンコの歌をスペイン語で「カンテ」と呼びます。歌一般を意味する「カンシオン」とは全く異なる特殊な歌として位置づけられているため、特別な名称がつけられています。フラメンコの真髄にあるのがこのカンテとされ、フラメンコのメロディーを担当します。

〈バイレについて〉

フラメンコの踊りはスペイン語で「バイレ」といいます。これは、その他の踊り一般をさす「ダンサ」とは区別されています。踊り手の履くフーラメンコシューズの底には釘が打ち付けられており、これでタップを踏むことでフラメンコのリズムパートを担当します。ブラソと呼ばれる豊かな腕の動きもフラメンコの踊りには欠かせません。

〈ギターについて〉

ギターは、カンテのメロディー、踊りのリズムをうけ、両者をフォローしながらそこにハーモニーを加える重要な役割をもっています。フラメンコのプロのギタリストになるためには、歌の伴奏、踊りの伴奏、ギターソロの3つのスキルを極める必要があります。

〈カスタネットについて〉

両手につけて、通常利き手で高音、反対の手で低音を鳴らします。楽器として演奏することも、手につけてカスタネットを鳴ら

©Amancio Guillen

しながら踊ることもあります。

## 〈バルマについて〉

スペイン語で「バルマ」とは手のひらを意味し、そこから転じてフラメンコで用いられる楽器としての手拍子をこう呼ぶようになりました。ギターや踊り、歌のそれぞれのシーンにあわせて、大きな甲高い音で打ったり、繊細な小さな音で打ったりと、様々な演奏法を用います。

## 〈カホンについて〉

もともと、南米ペルー産の楽器だったものを、パコ・デ・ルシアがフラメンコにとりいれたことにより、現在ではフラメンコで一般的に用いられるようになった箱状の楽器です。打楽器としてフラメンコのリズムを支える役割をもっています。

## —クインテットのメンバーをそれぞれご紹介ください。

ファン・カルロス・ゴメス(セカンドギター)

ホセ・アンヘル・カルモナ(カンテ、マンドラー)

アンヘル・ムニ奥斯(バイレ、カホン、バルマ)

チャロ・エスピーノ(バイレ、カスタネット、バルマ)

メンバーのひとりひとりが、それぞれ素晴らしいアーティストです。ツアーと一緒に世界各地を回り、私にとっては家族のような存在です。

—カニサレスさんがフラメンコ・ギターを始めたのはいつ、どのようなきっかけだったのでしょうか？

9歳年の兄もフラメンコ・ギタリストで、両親もフラメンコを歌っていたため、子どものころから自然にフラメンコに親しんできました。6歳でギターを弾き始めたのも、私にとっては非常に自然な流れでした。

—ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のような、クラシック音楽の世界的オーケストラ、世界的指揮者と多くの共演をされていますが、クラシック音楽とフラメンコを演奏する際、何か違いはありますか？

フラメンコの音楽とクラシック音楽は、テクニックもアプローチの仕方も全く異なります。そのため、全く別のものとして捉えて



います。どちらの音楽を演奏するときにも、自分らしさを常に一番大事にしながら演奏するという点では共通していると言えます。

—今回ご共演いただく福田進一さんは、どのようなご関係でいらっしゃる？

マエストロ福田氏と初めて出会ったのは、2004年、キューバのハバナで開催されたレオ・ブローウェルのギターフェスティバルでのことでした。すぐに意気投合し、彼がスペインへ来たり、私が日本へ行ったりする際には必ず連絡を取り合って一緒に食事をしたり、何時間も話をする親しい仲です。福田氏と共に演るのは今回が初めてなので楽しみにしています。今回の公演にあわせて福田氏に捧げるギター曲を書き下ろす予定で、福田氏に世界初演をお願いしています。

—最後に静岡の聴衆に公演に向けてのメッセージをお願いいたします。

ギターの音色とリズム、それに絡み合うカンテとバイレが織りなすスペインの雰囲気を感じただければと思います。初めてフラメンコの音楽を聴かれる方も、フラメンコに詳しいベテランの方にも楽しんでいただければ幸いです。私たちも静岡で演奏できることをとても楽しみにしています！

聴き手：竹内啓(静岡音楽館AOI学芸員)



## カニサレス・フラメンコ・クインテット×福田進一～スペイン・フラメンコの世界～

9/22 土 15:00 開演(14:30 開場)  
全指定 ¥5,000 (静岡音楽館会員¥4,500)

[Pコード:344-420]

\*未就学児はご入場いただけません。(託児サービスあり)

### 出 演

カニサレス・フラメンコ・クインテット

カニサレス(ギター)

ファン・カルロス・ゴメス(ギター)

ホセ・アンヘル・カルモナ(カンテ、マンドラー、バルマ)

アンヘル・ムニオス(バイレ、カホン、バルマ)

チャロ・エスピーノ(バイレ、カスタネット、バルマ)

福田進一(ギター)



©Takanori Ishii

### 曲 目

#### [前半]

“カニサレス×福田進一 ソロとデュオ／フラメンコとクラシックの邂逅”

カニサレス(ソロ)

J.M.カニサレス：時への憧れ～インプロヴィゼーション(即興)

福田進一(ソロ)

J.M.カニサレス：新作(世界初演)(2018・福田進一のために)

I.アルベニス：アストウリアス(《スペイン組曲》op.47-5)

カニサレス&福田進一(デュオ)

I.アルベニス：セヴィリア(《スペイン組曲》op.47-3)

A.ラウロ：ベネズエラ・ワルツ第2番&第3番(ナターリヤ)

M.d.フアリヤ：スペイン舞曲第1番(歌劇《はなき人生》より)

#### [後半] (候補曲)

“カニサレス・フラメンコ・クインテット～フラメンコの世界～”

J.M.カニサレス：カリブ海(Mar Caribe)

悠久(Lejana)

魂のストリング(Cuerdas del Alma)

彗星の雨(Iluvia de Cometas)

小さな松の森(Bosquecillo de Pinos)

雪の砂漠(Desierto Nevado)ほか

### トークショー 日本人とフラメンコ

9/22(土)13:30～14:30

お詫び：逢坂剛(作家)、福田進一(ギタリスト)

静岡音楽館AOI 講堂(7階) 無料(要申込)

9月に「ジャン=ギアン・ケラス(チェロ)&フレンズ トラキア・プロジェクト」で  
AOIに登場するジャン=ギアン・ケラスさん。  
2017年3月の「ベートーヴェン：チェロ・ソナタ全曲集」以来、  
約1年半振りの登場です。9月の公演に向けて、メッセージが届きました。



静岡の皆様へ

シェミラーニ兄弟とは南仏で暮らしていた頃の幼馴染みでしたが、  
実際一緒に演奏するようになったのは20代になってからのことでした。  
私は幼い頃3年間アルジェリアで暮らしていたのですが、その頃聞いたエキゾチックな異国のメロディーや言葉の  
響きにとても惹かれていて、西洋音楽と異国音楽を繋ぐ架け橋になるようなことをやってみたいと思っていました。  
それで、「一緒に演奏しよう」とシェミラーニ兄弟を誘ったのです。

今回、私たちが静岡音楽館AOIで演奏するプログラムには特別な作品—シェレール氏による新作が含まれています。  
シェレール氏は作曲家としても人としても偉大な詩人と言える人物で、その作品は繊細さに満ちていますし、時を超  
越して我々の魂を遠くへと導いてくれます。今回彼が書いてくれる作品も、私たちの期待に最大限に応えてくれるもの  
と確信しています。

シェミラーニ兄弟とソクラティスとのコンサートは、国や地域そして会場の大小に関わらず、どこでもポジティブに  
受け入れられ、その響きを存分に楽しんでいただいている。音楽と人々との間で何か神聖で厳かな交信が行われてい  
るような感覚です。

今も目を閉じるとシェミラーニ兄弟のザルブやダフの音、ソクラティスが奏でるリラの音が響いてきて、私を遠くへ  
と誘っているような感じがします。音楽や芸術というものは、我々に内的な旅をさせてくれるものですね。

今回、静岡の皆さんと共に、魂の旅をご一緒できることをとても楽しみにしています！

ジャン=ギアン・ケラス

2020しづおか文化プロジェクト  
静岡市文化振興財団

## ジャン=ギアン・ケラス(チェロ)&フレンズ トラキア・プロジェクト ～クラシックとギリシャ・ペルシャ伝統音楽の架け橋～

9/28 金

19:00 開演(18:30 開場)

全指定 ¥5,000(静岡音楽館俱楽部会員¥4,500)

[Pコード:344-424]

\*未就学児はご入場いただけません。(託児サービスあり)

出 演

ジャン=ギアン・ケラス(チェロ)  
ケイヴァン・シェミラーニ、ピヤン・シェミラーニ(ザルブ、ダフ)  
ソクラティス・シノプロス(リラ)

### 曲 目

R.ダリー：カルシラマ  
S.シノプロス：ニハーヴェント・セマーイー  
W.ルトスワフスキ：ザッハー変奏曲  
P.シェレール：Dance for Hermès  
Z.コダイ：無伴奏チェロ・ソナタ 第2楽章  
M.-R.ロトフィ：ホマユン  
F.ルリッシュ：ハムセ  
もしも私が鳥だったなら(作曲者不詳)  
トラキア伝統音楽(日曜日の朝)  
シェミラーニ兄弟による即興演奏

### 講演会 作曲家の視点から

9/28(金)17:00~18:30  
お詫び：P.シェレール(作曲家)、野平一郎(作曲家、ピアニスト、静岡音楽館AOI芸術監督)  
静岡音楽館AOI 講堂(7階) 無料(要申込)

## AOI・レジデンス・クワルテット 松原勝也(ヴァイオリン) × 川本嘉子(ヴィオラ) 対談



これまでのAOI・レジデンス・クワルテット(以下ARQ)の演奏会での印象  
に残っている公演は?

松原：バルトークの作品3曲をひと晩で演奏した会はとても大変だったので、良く覚えています<sup>1</sup>。あとはベルク<sup>2</sup>や東京公演<sup>3</sup>をした2015年の野平一郎先生の作品も印象に残っています。あれもかなり大変でした。川本：私は2012年のバッハ：《フーガの技法》です<sup>4</sup>。「ああ、カルテットの音ってこういうふうに作るのかな。」と思い、とても新鮮な気持ちになつたことを覚えています。

松原：あれは、《フーガの技法》の原譜を野平さん(AOI芸術監督)のアドバイスのもと作り上げたもので、「響きの層」みたいなものを実感できた演奏でした。私もよく覚えています。

川本：それはバッハの力なのでしょうか。聴きなれたオルガン曲やピアノ曲をカルテットで再現することがこんなに面白いものなのかと、結構興奮しました。この演奏があって、私はのちに大阪国際室内楽コンクールのカルテットの課題曲にしたらどうかと進言したくらいです。

松原：間宮芳生先生(静岡音楽館AOI初代芸術監督)の弦楽四重奏曲第3番<sup>5</sup>もありましたね。

川本：ベートーヴェンのラズモフスキーセット<sup>6</sup>は全部演奏していますね。

### ご自身のパートの特徴、役割について

川本：ヴィオラは、わりと控えめでおとなしい人が多いイメージがあります。リハーサルの際にも発言回数が圧倒的に少ないですし、みんなを立てているうちに自分の立ち位置を図ることで、バランスや音楽の方向性を決めていっているように思います。ほかのパートに対して、気を遣うことようにしているつもりです。

松原：確かに、お互いに適度な気遣いは必要ですよね。ただ、その中で本音の交流というのも必要で、その塩梅がとても難しいです。私は

<sup>1</sup> 2004 年  
B.バルトーク：弦楽四重奏曲第 1 番 op.7, Sz.40  
弦楽四重奏曲第 3 番 Sz.85  
弦楽四重奏曲第 6 番 Sz.114

<sup>2</sup> 2007 年  
F.シューベルト：弦楽四重奏曲第 12 番 四重奏断章 ハ短調 D.703  
A.ベルク：抒情組曲  
J.ブラームス：クラリネット五重奏曲 ロ短調 op.115／ポール・メイエ (CL)

<sup>3</sup> 2015 年  
D.ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲第 1 番 ハ長調 op.49  
野平一郎：弦楽四重奏曲第 5 番(2015年度静岡音楽館 AOI 委嘱作品・世界初演)  
L.v.ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第 1 番 ハ長調 op.18-1

<sup>4</sup> 2012 年  
J.S.バッハ：フーガの技法 BWV1080より  
R.シューマン：弦楽四重奏曲第 1 番 イ短調 op.41-1  
L.v.ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第 8 番(ラズモフスキーセット)  
L.v.ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第 1 番 ハ長調 op.59-2

<sup>5</sup> 2015 年  
J.J.ハイドン：弦楽四重奏曲第 76 番(五度)ニ短調 op.76-2, Hob.III-76  
間宮芳生：弦楽四重奏曲第 3 番(白い風のうた)  
L.v.ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第 10 番(ハープ)変ホ長調 op.97

<sup>6</sup> ラズモフスキーセット  
2011 年 L.v.ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第 7 番(ラズモフスキーセット)  
2012 年 弦楽四重奏曲第 8 番(ラズモフスキーセット)  
2013 年 弦楽四重奏曲第 9 番(ラズモフスキーセット)

はARQではファースト・ヴァイオリンを担当していますが、「ファースト・ヴァイオリンだからこうあるべきだ。」ということは余り考えないようにしています。音楽自体が目に見えないもの、ある種のファンタジー(幻想)なので、ある種の規範に縛られずもっと自由な方がいいと思っています。

### 今回演奏していただくプログラムの聴きどころは

松原：メインで取り上げるシベリウスは、特異な作曲家だと思います。先日、オーケストラでシベリウスのプログラムを演奏したのですが、人知を超えた自然の中にある神話性のようなものが音楽の中に根付いていて、音楽のスタイルが壊れるか壊れないかギリギリのところでなんとか保っているということを認識しました。ベートーヴェンやブラームスに比べると脆く流動的で、常に変転しているように感じています。そのようなシベリウス独特の音楽のエッセンスの一端を、今回演奏する弦楽四重奏曲《親愛なる声》を通して体感していただけると思います。

川本：私は、ベートーヴェンの弦楽四重奏曲第4番とショスタコーヴィチの弦楽四重奏曲8番を学生時代によく演奏しました。その時の記憶と、今回の新たな演奏で自分自身のなかでどれ程の違いがあるのか、とても興味があります。特にベートーヴェンはとても難しい曲なので、どのように演奏が仕上がりっていくのか、今からとても楽しみにしています。

今回のお話を通じて、お二人ともに真摯に曲に向かい合った演奏されていることを強く感じました。11月の演奏会が今からとても楽しみです。

聴き手：竹内啓(静岡音楽館AOI学芸員)



撮影：日置真光

2020しづおか文化プロジェクト 静岡 室内楽フェスティバル2018

## AOI・レジデンス・クワルテット 11/10 土 全指定 ¥3,500

[Pコード:344-440] ※未就学児はご入場いただけません。(託児サービスあり)

出 演 [Pコード:344-440]

AOI・レジデンス・クワルテット  
松原勝也、小林美恵(ヴァイオリン)  
川本嘉子(ヴィオラ)  
河野文昭(チェロ)

曲 目

L.v.ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第4番 ハ短調 op.18-4  
D.ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲第8番 ハ短調 op.110  
J.シベリウス：弦楽四重奏曲《親愛なる声》ニ短調 op.56



# インタビュー 嘉数道彦

(国立劇場おきなわ芸術監督)



2018年12月1日(土)「琉球弧の島唄」公演のコーディネーターをお願いしている  
国立劇場おきなわ芸術監督の嘉数道彦さんにお話を伺いました。

—「琉球弧の島唄」というタイトルで公演をおこなっていますが、「島唄」とはいわゆる「民謡」ということでしょうか。なにか特別な意味が込められているのでしょうか。

沖縄という「シマ」とは、島(アイランド)に限らず、地域、村落のことを称しています。島(シマ)の数ほど言葉があると言われ、地域それぞれに独自の文化が息づいており、その土地に生きる人々の暮らしや風土の中から誕生してきた大衆音楽が、各地域に根付く唄、すなわち「島唄」の世界といわれています。

—今回のプログラムはどのようなものですか？

奄美、沖縄本島、宮古、八重山と特色ある各地の島唄を唄い継いできた、沖縄を代表する重鎮たちが、顔を揃えた豪華なラインナップです。演奏される曲目も古くから唄い継がれ、今や作者不詳となっている名曲が並び、踊りとトークを交えつつ、味わい深い沖縄民謡の世界を堪能出来る構成となっています。

—奄美、沖縄、宮古、八重山の島唄のそれぞれの特徴についてお聞かせください。

琉球弧と一緒にいっても、言葉をはじめ文化がすべて異なります。一言にそれぞれの特徴を述べることは困難ですが、鹿児島寄りの奄美から、台湾寄りの八重山まで、その土地に根ざした言葉を用いた歌詞や旋律によって、自然と各地の情緒が滲み出て、それぞれの島の風を感じることが出来ると思います。

—「島唄」で使われる主な楽器とそれらの特徴についてお教えてください。

基本は、14世紀頃、中国から伝わったといわれる三線ひとつです。全長80センチほどの大きさで、棹は黒檀、胴はイヌマキなどにニシキヘビの皮を張った楽器に、3本の弦を張り、演奏しながら自ら歌います。曲目に応じて、伴奏楽器として笛や太鼓が使用されることもあります。

—琉球列島には数多くの伝統芸能が残り、いま人々の近いところにあるように思います。今回は「島唄」を取り上げていただきますが、これ以外にどのような伝統芸能がありますか？

琉球王国時代に誕生した宫廷芸能の中には、「組踊」と呼ばれる独自の古典劇をはじめ、様々な歌舞音曲、芸能が存在します。また、廃藩置県以降に庶民のニーズに合わせて創られた「雑踊」や「沖縄芝居」、各地域に継承される民俗芸能、そして近年も、新たな芸能ジャンルが次々と誕生しています。

—公演に向けて静岡のみなさんにメッセージをお願いいたします。

琉球弧の島々の豊かな自然や人々の暮らしの中から生まれ、古より多くの人々に愛され育んできた島唄の数々が、静岡の地で披露されます。南国特有の音楽文化に触れていただき、自らの島をこよなく愛する、熟練された名唄者たちによる1日限りの唄会、存分に堪能していただければと思います。

聴き手：竹内啓(静岡音楽館AOI学芸員)

## 琉球弧の島唄 ~奄美、沖縄、宮古、八重山の民謡~

12/1 土

15:00 開演(14:30 開場)

全指定 ¥3,500 (静岡音楽館俱楽部会員¥3,150) [Pコード:344-446]

\*未就学児はご入場いただけません。(託児サービスあり)

曲 目

知名定男(沖縄民謡/ナビゲーター)  
大城美佐子(沖縄民謡)  
大工哲弘(八重山民謡)  
仲宗根豊(宮古民謡)  
西和美(奄美民謡)ほか  
  
沖縄民謡・大城美佐子の世界  
　　〈白雲節〉〈下千鳥〉〈恋語れ〉(踊り)〈ひじ小節〉(コンビ県／知名定男、大城美佐子)  
宮古民謡・仲宗根豊の世界  
　　〈伊良部トーガニー〉(多良間シンガニー)(踊り)〈かねしゃがまよ〉  
八重山民謡・大工哲弘の世界  
　　〈黒島口説〉〈マミドーマ〉(踊り)  
　　〈安里屋ゆんた〉(猫ゆんた)〈とうばらーま〉〈くいちゃ踊り〉(踊り)  
沖縄民謡・知名定男の世界  
　　〈ナーケニー〉〈門たんか〉(はんたん原)  
奄美民謡・西和美的世界  
　　〈野茶坊節〉〈塩道長浜節〉〈一切朝花節〉

### 講演会 琉球弧の島唄

12/1(土)13:00~14:30  
お話し：大工哲弘(八重山民謡)、嘉数道彦(国立劇場おきなわ芸術監督)  
聴き手：田村博巳(国立劇場調査養成部長、静岡音楽館AOI企画会議委員)  
静岡音楽館AOI 講堂(7階) 無料(要申込)



2011年度より開催している「アマチュア・アンサンブルの日♪」は8回目を迎えます。毎回多くのご応募をいただいておりますが、今回も応募多数により抽選を行い、参加団体24組が決定しました。皆さまのご来場をお待ちしています。

2020しづおか文化プロジェクト 静岡 室内楽フェスティバル2018

## 第8回 アマチュア・アンサンブルの日♪

11/23(金・祝)

12:00 開演(11:30 開場)※19:00 終演予定

無料  
(申込不要)

### 出演

第1部 12:00 開演

Alumni(ヴァイオリン、ピアノ)  
アンサンブルHONEY(ヴィオラ、ピアノ)  
アンサンブル・ヴァン・ルージュ(ヴァイオリン、チェロ、ピアノ)  
アラウンド フィフティーズ(うた、ヴァイオリン、ピアノ)  
アンサンブル静岡(フルート、ヴィオラ、チェロ、ギター)  
ラリレロ(弦楽合奏)



アラウンド フィフティーズ



アンサンブル「とろ」

アンサンブル・ヴァン・ルージュ

第2部 14:00 開演(予定)

篠笛アンサンブル フラウタ  
Papillon(イングリッシュハンドベル)  
アンジェリカ(エンジェルハープ四重奏)  
チドレミ(オカリナ・アンサンブル)  
ハンドベルアンサンブル エクレール  
フレンズ(マンドリン・ギター・アンサンブル)  
ギター・アンサンブル サウンド・オブ・ドリーム



アンサンブル静岡

クッキーズ(フルート三重奏)  
アンサンブル「とろ」(トロンボーン四重奏)  
カブリチオ(木管アンサンブル)  
Granz Trombone Quartet(トロンボーン四重奏)  
志太室内楽団(木管アンサンブル)  
amici(ピアノ、うた、サクソフォン、打楽器)  
Saxophone Ensemble PICO(サクソフォン・アンサンブル)  
プラス・アンダンテ静岡(金管アンサンブル)  
Ensemble Mishmash(クラリネット四重奏)  
Saxophone Ensemble Pont de Cerisier(サクソフォン四重奏)  
どんどんプラス(金管アンサンブル)

### 第13期

## 「ピアニストのためのアンサンブル講座」(ピアノ伴奏法講座)受講生決定!

2006年度より毎年開催している「ピアノ伴奏法講座」。第8期より講座名を「ピアニストのためのアンサンブル講座」と改め、よりアンサンブルを意識した講座としています。この度、第13期受講生5名が決定しました。

7/18(水)～1/14(月・祝)の修了記念コンサートまで、4名の講師の指導のもと、全10回の講座を行います。



市橋茉莉



香川明美



清田千絵



鳥羽亜矢子



吉田茉莉子

聴講生随時募集中！22歳以下の方は無料です。ぜひご来場ください。

日程／2018 ①7/18(水)、②19(木)、③9/11(火)、④12(水)、⑤11/3(土・祝)、⑥4(日)、⑦12/18(火)、⑧19(水)、⑨2019 1/13(日)、⑩14(月・祝)

内容／〈奇数回〉13:30～19:30 実技レッスン

〈偶数回〉10:00～19:30 アナリーゼ

講義～奏者の視点から～②④⑥

ピアノをめぐる音響を考える⑧

実技レッスン

①②はチェロ、③④はヴァイオリン、⑤～⑧は三重奏及び四重奏、

⑨はすべて、⑩は修了記念コンサートを開催予定。

会 場／静岡音楽館AOI ホール(8階)、及び講堂(7階)

講 師／野平一郎(作曲家、ピアニスト、静岡音楽館AOI芸術監督)、

漆原啓子(ヴァイオリン奏者)、

向山佳絵(チェロ奏者)、横川晴児(クラリネット奏者)

倉田尚彦(株式会社松尾楽器商会 調律師)\*⑧講義講師

聴講料／

一般  
¥1,000

22歳以下  
無料

10回通し券：一般¥9,000

\*修了記念コンサートについては静岡音楽館俱楽部会員は無料です。

